



ひまわり



桶川市青少年健全育成市民会議

第 43 号

令和2年1月1日 (年1回発行)

発行 桶川市青少年健全育成市民会議

編集 桶川市青少年健全育成市民会議

広報発行委員会

事務局 桶川市教育委員会生涯学習文化財課

☎788-4970

✉shogai@city.okegawa.lg.jp

令和元年度「家庭の日」ポスターコンクールで優秀賞を受賞された皆さんの作品です。おめでとうございます。(敬称略)

入賞作品は3月2日から13日まで市役所1階市民ギャラリーに展示します。



日出谷小学校 1年 関 仁翔
「かそくですふぬれ ゆうえんち」



桶川西小学校 2年 岸 塔馬
「花火見ながらおにぎりたべよう」



桶川西小学校 5年 岸 琴音
「夏休みのモグモグタイム」



桶川西小学校 4年 五十嵐よつば
「家族どみた星」



日出谷小学校 3年 北村 実久
「なかよくパーベキュー」



桶川西小学校 6年 吉岡 璃子
「いどころが生まれたよ!!」



桶川中学校 1年 宗行 環奈
「臺参り」



桶川西中学校 1年 矢澤 史哉
「気球の前でハイポーズ!!」



桶川西中学校 3年 古澤真之介
「たえない笑顔」



市民大会が行われました

「楽しいコミュニケーション」を 考えよう!

「家庭での対話」編

～ 子どものネットトラブルを
防ぐための3つの対策 ～

LINEオフィシャルインストラクター
福泉 敏子 氏



はじめに、『LINEは東日本大震災をきっかけにつくられたものです』という話があった。「既読」という機能は、非常時にメッセージを送った相手が、メッセージを読んだ事が分かるので安心するし、何より安否確認になるのである。

今から30年ほど前、コミュニケーションツールは黒電話や駅の伝言板だった。現在はLINEやSNSへと変わったが、道

具や環境が変わってもモラルや社会のルールは変わらないということを子どもにも伝えてほしい、と講師は言う。

ネット上では、顔も名前も知らない世界中の人とつながってしまう、ということを意識する。ネットの向こうの反応を想像して、踏みとどまって考える。そして大人は子どもの変化に気づくことが大事である。一度流した情報は一生ネット上に残るのだ。

子ども達は大人よりもスマートフォン操作に慣れるのが早いし、知識もある。その知識を経験に変え、さらに想像力を身に付ける。家庭の方針はそれぞれでも、いじめや悪口など、やっつけないけないことはSNS上も実生活も同じなのである。

一枚の写真を見て、たくさんの個人情報が見られていることを教えられた。また、5枚のカードを使って、人がされて嫌だと思ふ事が違ふ、という事に気が付いた。ワークショップ形式の講演会は、とても分かりやすく、あつという間だった。

(西永)

第32回 桶川市青少年健全育成市民大会



12月8日(日)、桶川東公民館大ホールにおいて、第32回桶川市青少年健全育成市民大会が開催されました。

講演会ではLINEオフィシャルインストラクター福泉敏子氏による講演「楽しいコミュニケーション」を考えたよう、「家庭での対話」編、子どものネットトラブルを防ぐための3つの対策が、行われました。

その後、「青少年育成功労賞」、市内小・中学校が取り組んだ「私たちの主張」作文コンクール及び「家庭の日」ポスターコンクールの表彰と、作文コンクール優秀賞作品の朗読が行われました。

(鈴木)

令和元年度 桶川市青少年健全育成市民会議総会



▲弓削多 美信 氏

6月2日(日)、桶川東公民館において、令和元年度桶川市青少年健全育成市民会議総会が開催されました。開会式後に「思春期の子どもとの接し方」子どもの自立にむけて」をテーマに、埼玉県家庭教育アドバイザーの弓削多美信(ゆげた みぶ)氏に講演していただきました。

講演の中では、終わらない反抗期はない、子ども自身が生きていく力を身につけ、人との関わりを持ち、コミュニケーション力を育てていくことが大切など、ご自身の子育て経験をもとにお話くださいました。

講演の最後には、「弓削多氏が絵本「おこだでませんように」を朗読しました。怒られてばかりいる子の心の中を描いた、心に響くお話で、会場内は感動に包まれていました。その後、総会も滞りなく終了しました。

(小高)

桶川市青少年健全育成市民会議年間事業

おけがわ春のふれあいフェスタ

すがすがしい晴天のもと、5月12日(日)、2019おけがわ春のふれあいフェスタが華やかに開催されました。

今年から開会式は市民ホールで行い、多くの方々に参加していただきました。その後、市民ホールでは、午前中にダンスチームの素晴らしい演技、午後にはバラリンピアン池あいら氏が「東

京2020パラリンピックに向けて」

をテーマにお話していただき、会場は熱気に包まれていました。

西口公園では、69の出店団体と、11のステージ出演団体の皆様にフェスタを盛り上げていただき、無事に終了することができました。

(澁谷)

非行防止街頭キャンペーン

7月3日(水)、午後6時から7時まで桶川駅周辺において、非行防止街頭キャンペーンが行われました。

雨が降りそうな天気の中、たくさんの構成団体・上尾警察署の協力のもと、リーフレットを配布し、非行防止を呼びかけました。(甘浦)



市民まつり非行防止キャンペーン

11月3日(日)、さわやかな秋空の下、市民まつりが開催されました。当市民会議は、桶川小学校を中心に今年も非行防止キャンペーンを行いました。

子ども達に風船を配布したり、構成団体及び巡回指導員の方々が、非行防止のリーフレットや啓発品を配布したりして、青少年の非行防止を訴えました。(甘浦)



ある日の澁谷会長



(ちーかま)

青少年育成埼玉県民会議 会長より表彰

11月28日(水)、知事公館において、青少年育成埼玉県民会議の表彰式が行われ、青少年の健全育成に尽力された、桶川市青少年健全育成市民会議の政輝靖副会長と、当市民会議の構成団体である桶川市青少年相談員協議会の石井暁生さんが「青少年育成功労賞(個人)」を受賞しました。

また政輝副会長は、11月4日(月)に東公民館で開催された令和元年度桶川市表彰式典においても、当市民会議の運営委員として長年の功績が称えられ、桶川市表彰として表彰されました。



▲(左から) 政輝氏、大野埼玉県知事、前島県民会議副会長、石井氏

埼玉県等主催

青少年の主張大会で 優良賞と特別賞を受賞

埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議が主催する令和元年度「未来を担う私たちの主張(青少年の主張大会)」が行われ、桶川中学校1年の二瓶優月さんの作品「多数でよかったでは終わらせない」が、中学生の部で優良賞を受賞し、あわせて「Next Action 埼玉りそな銀行」特別賞も受賞しました。



▲青少年育成埼玉県民会議副会長前島富雄氏と二瓶さん

コンクールの入賞者が表彰されました

青少年育成功労賞表彰



市民大会で行われた表彰式では、青少年の育成に顕著な功績のあった個人や団体の皆様に「青少年育成功労賞」が、16名・2団体に授与されました。

また、市内小・中学校の児童・生徒が取り組んだ「私たちの主張」作文コンクールでは229点の応募があり、優秀賞6点、優良賞6点の入賞者の表彰を行いました。

さらに、「家庭の日」ポスターコンクールでは160点の応募があり、優秀賞9点、優良賞9点の入賞者の表彰を行いました。表彰された皆様や作品を紹介します。(澁谷) (敬称略)



会長
澁谷 光章

- 個人の部
- 桶川レッドサッカースポーツ少年団
- 秋山 昭次郎
- 桶川ヤンキーススポーツ少年団
- 河村 努
- 桶川カーディナルススポーツ少年団
- 北口 定生
- 桶川ヤングアローズスポーツ少年団
- 横山 貴博
- 川田谷ベアーズスポーツ少年団
- 谷島 滋

- 桶川西ミニバスケットボールクラブスポーツ少年団
- 関根 崇
- 桶川レグルススポーツ少年団
- 松村 豊
- 桶川ソフトテニススポーツ少年団
- 小村 研造
- 合気道桶川愛氣会
- 杉田 茂
- 桶川市子ども会育成連絡協議会
- 大塚 尚美
- 桶川市青少年相談員協議会
- 高橋 美穂
- 川田谷小学校合宿通学実行委員会
- 砂川 徹
- 日出谷小学校PTA
- 柳 久男
- 桶川市人権擁護委員会
- 高柳 千恵子
- 桶川地区更生保護女性会
- 中村 良子
- 鴻巣地区保護司会桶川支部
- 富田 昭
- 団体の部
- 川田谷小学校学校応援団
- 環境部
- 紅花の会 児童班

優良賞作品



「家族との楽しい生活」
日出谷小学校 4年 榎本 琉伽



「みんなで なかよくしらべようね」
日出谷小学校 2年 石森 夢乃



桶川小学校 4年 栗原 育実
「とうもろこし畑の思い出」



桶川小学校 3年 平井 穰
「男鹿半島でパパと なまはげに へんしん!」

「家庭の日」ポスターコンクール入賞者



日出谷小学校 1年 佐久間 香里
「てをつなごう かていの日」

優良賞

青少年育成功労賞、作文・ポスター

「私たちの主張」作文コンクール入賞者



優秀賞

わたしのしよつ来の夢

桶川東小学校 5年 杉江 優奈

人とペットの命の重さ

桶川東小学校 6年 中野 真里絵

夢に向かつて

桶川東小学校 4年 道祖尾 美玖

自分探しへのチャレンジ

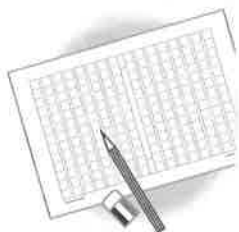
桶川中学校 1年 長野 成孝

取扱説明書

加納中学校 3年 加藤 一花

目と目の会話

桶川中学校 3年 石本 鈴



講評

作文に込めた小・中学生の皆さんの主張は、他の小・中学生に伝えたいだけでなく、大人と一緒に活動したくなったり、未来を改めて考えたりする内容でした。今年は例年に比べ、自分を見つめたり、未来を見つめたりする内容が多かったように思います。さらに、やってみよう、今取り組んでいるという体験が作文を力強いものにしていきます。これからも、言葉が持つ力とよさを生かし、伝え合う力を高め、未来を切り拓いてほしいと思います。

次にポスターですが、児童生徒の声が聞こえてきそうな絵や、絵を描いている時に楽しかったことを思い出したり、表し方を考えたりして、描く喜びが伝わってくるところが、選ばれた作品のよさだと思います。子ども達が絵に込めた思いを受け取り、家庭の果たす役割について、家族で考えていただけたら幸いです。
(閑野)

優良賞

私の夢

桶川小学校 5年 山村 葵葉

私の夢

桶川西小学校 6年 出浦 芽依

私の将来の夢は薬さし師とダンサー

日出谷小学校 6年 佐藤 雪空

野球の体験から

加納中学校 1年 石川 翔梧

天才と秀才

桶川中学校 2年 寺崎 有美

LGBTの方の恋愛について

加納中学校 2年 北目 真咲

ポスターコンクール

埼玉県等主催 「家庭の日」ポスターコンクール入選



桶川中学校 2年 太田 百香
「いつも応援ありがとう」



桶川東小学校 5年 小河原 咲彩
「家族そろった楽しい毎日」



桶川東中学校 3年 水野 寧々
「家族で夏の障子張り」



「家庭の日 I Love Home」
桶川中学校 1年 西山 純恋

埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議が主催する令和元年度「家庭の日」ポスターコンクールが行われ、加納小学校4年の金井莉瑚さんの作品「楽しく歌おう 家庭の日」が、小学生の部で入選しました。

2019 親子ふれあいウォーク

令和元年10月5日(土)、川田谷地区「親子ふれあいウォーク」が開催され、94名というたくさんの方がウォーキングを楽しみました。

当日は、配られた地図とクイズシートを手に、午前9時に農業センターをスタートしました。チェックポイントの小島農園・氷川神社・坂巻醤油店・原集会所ではスタンプを押してもらい、ポイントにまつわるクイズが出題されました。クイズは意外と難しい問題もあり、ヒントを探しながら答えていきました。途中の坂巻醤油店では、醤油を作っている大きな樽を見学することができ、オケちゃん写真撮影もしました。

また原集会所では、子ども達がパラリンピック正式種目の「ボッチャ」を日本体育大学研修部の方々から教わって楽しんでいたり、オケちゃんのスペシャルクイズに答えたりしました。



ゴールの後には、ラミネート加工した記念写真をもらい、子ども達はとても喜んでいました。さらに手作りの豚汁が待っていて、たくさん歩いた参加者は、ホッと息をつきながら、とても美味しくいただきました。秋とは思えないほど気温が高かったです。のどかな風景と普段歩くことのない道が続き、先へ進むごとに驚きと発見の連続で、とても楽しいウォーキングでした。

加納地区親子ふれあいウォークは、10月19日(土)に開催を予定していましたが、雨天のため中止となりました。当日は、約8kmの道のりを秋の景色を楽しみながら歩く予定でした。

桶川市子ども会育成連絡協議会の方々をはじめ、青少年相談員、ジュニアリーダー、加納小学校PTAの方々、日本体育大学研修部の方々、地域の皆様、ご協力ありがとうございました。

(黒田・対馬)



ボッチャを楽しむ様子。

ひまわりのつぶやき

★子は親の心を実演する名優である、という言葉があります。親はまず自分を磨くこと、自分を正すことが大事だと思います。子に、人としての芯が形成された時、それはきつと親の心を映した子になると思うのです。(澁谷)

★殺伐とした世の中「ご近所付き合い」「井戸端会議」今ではなかなか聞かない言葉、まずはそこから始めようかな。人と人との繋がりがって大事、人との関わりで成長できるはず。(小高)

★家族みんなで過ごしたのは、たった9年間。そして春にはまた、娘が新しい道へ進むことになった。嬉しくもあり寂しくもあり。(西水)

★子どもが生まれて高校に入る頃まで、子育てと仕事と家事で過ぎていく時間。子どもの成長は早い。孫と

編集後記

桶川市青少年健全育成会議では、市民会議の存在と役割の大切さを多くの方々に関心・ご理解をいただく為に年1回広報《ひまわり》を発行しています。

この《ひまわり》の名前は、「次の世代を担う青少年にひまわりの花のように堂々と明るい笑顔で前進して欲しい。」との願いが込められているそうです。

先日、ひまわりの編集会議中に、私の携帯電話が鳴りました。小学校

お酒を飲むのが夢だと言っていた自分の父。それもあと数年。時間って大切。そう実感します。(対馬)

★中学生の息子。気づいたら肩を並べるほど成長したことに驚き、「大きくなったね」と嬉しいような寂しいような。子どもと過ごす限られた時間を大切にしていきたいと思えます。(甘浦)

★縁あって参加させていただいた広報活動、全ての行事が子どもたちを想うたくさんの方々の力によって行われている事を知りました。「ご縁」と「感謝」を大切に。(鈴木)

★ひまわりの編集に初参加させていただきました。ガチガチに緊張していたのですが、回を重ねる毎に「よし、頑張ろう！」と元気を貰って笑顔で帰宅できる会議でした。(山田)

★前号から引き続き参加させていただきました。編集会議はとても和やかな雰囲気ですが、芯にはピリッと通った空気があり、その空気に心地よく飲み込まれております。(黒田)

2年生の末娘から「ただいま」という連絡でした。子どもが家や両親の携帯電話の番号を覚えて、私に電話をしてきた事を褒められたので、帰宅してからその事を末娘に伝えたと、とても喜んでいました。何でもない事かもしれませんが、そんなところから笑顔や自信が生まれるのかもしれない。

多様化・複雑化する世の中でも、子ども達が笑顔の絶えない毎日を過ごせるよう、家庭・地域・学校が連携し温かく見守る事が改めて大切だと感じました。(山田)